

静止地球環境観測衛星の整備

(ひまわり8号：平成26年夏打上予定、ひまわり9号：平成28年夏打上予定)
 総事業費1,035億円

国土交通省
 気象庁観測部気象衛星課
 03-3212-8341

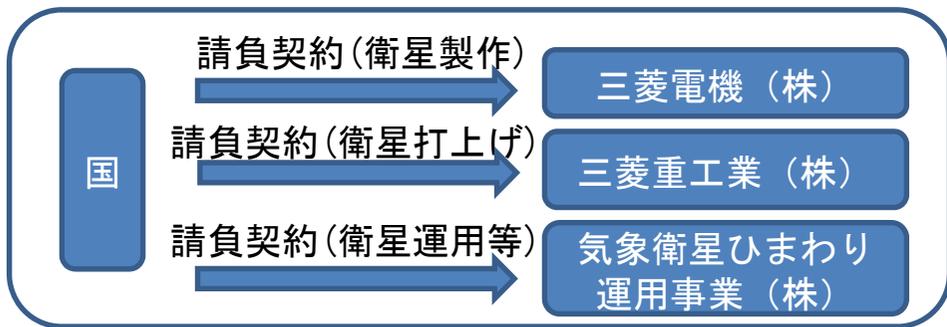
事業の内容

事業の概要・目的

- 国民の安心・安全に寄与する防災情報の作成及び地球環境の監視に欠かせない静止地球環境観測衛星ひまわり8号及び9号を整備します。
- 平成26年度及び平成28年度にそれぞれひまわり8号及び9号を打ち上げます。

(年度)	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	2010					2015					
静止地球環境観測衛星 ひまわり8号 ひまわり9号	衛星製作		衛星製作		打上		観測		待機		
	衛星製作		衛星製作		打上		待機		待機		
衛星運用(PFI事業者)	地上設備製作				衛星運用等						
衛星打上げ	打上げ(8・9号一括契約)										

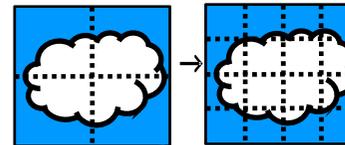
条件(対象者、対象行為、補助率等)



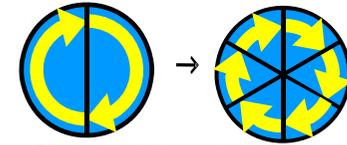
事業イメージ

○ひまわり8号及び9号においては観測機能を強化します。

・解像度を2倍



・観測時間を10分に短縮



1時間に2回観測 → 1時間に6回観測

・観測種別を3倍

観測種別	白黒画像	なし	赤外線画像
観測範囲	可視域	近赤外線	赤外線
観測長さ	短い(人の目に見える)	長い(人の目に見えない)	長い(人の目に見えない)
観測回数	3原色画像(カラー合成画像)	3種類の画像	10種類の画像

効果

【防災のための監視機能を強化】

台風や集中豪雨等の観測情報をより精密により早く提供できます。

【地球環境の監視機能を強化】

海面の温度、海水の分布、大気中の微粒子等といった観測をより高精度に実施できます。



運輸多目的衛星 (MTSAT) による航空・気象ミッションの運用

運用段階 (MTSAT-1R: 平成17年2月打上、MTSAT-2: 平成18年2月打上)

総事業費2,010億円 (衛星製造、打上、地上施設等を含む)
(うち、航空局1,695億円、気象庁315億円)

国土交通省

航空局管制技術課

03-5253-8111

気象庁観測部気象衛星課

03-3212-8341

事業の内容

事業の概要・目的

○運輸多目的衛星 (MTSAT: Multi-functional Transport Satellite) は、航空管制のための航空ミッションと気象観測のための気象ミッションを併せ持つ多目的利用の静止衛星です。

○運輸多目的衛星新1号 (MTSAT-1R)

製造業者: スペースシステムズ/ロール社 (米国)

打上: 平成17年2月26日

軌道位置: 東経140度

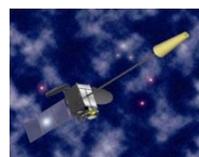


○運輸多目的衛星新2号 (MTSAT-2)

製造業者: 三菱電機 (株)

打上: 平成18年2月18日

軌道位置: 東経145度



条件 (対象者、対象行為、補助率等)

国が運用を実施

事業イメージ

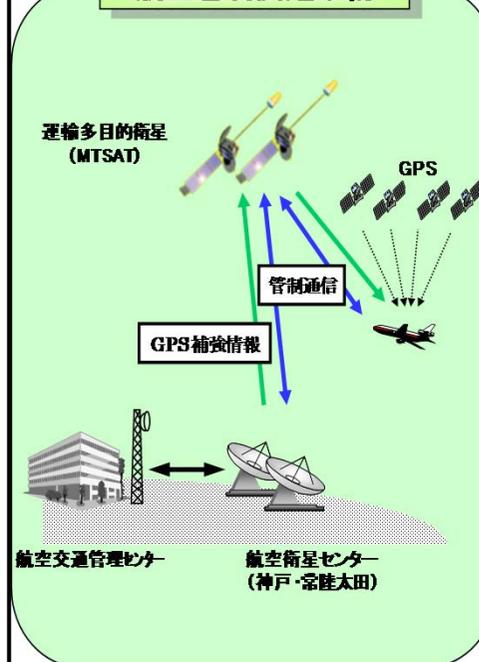
○航空管制関連業務

運輸多目的衛星 (MTSAT) の通信機能・航法機能を航空管制業務に利用しています。

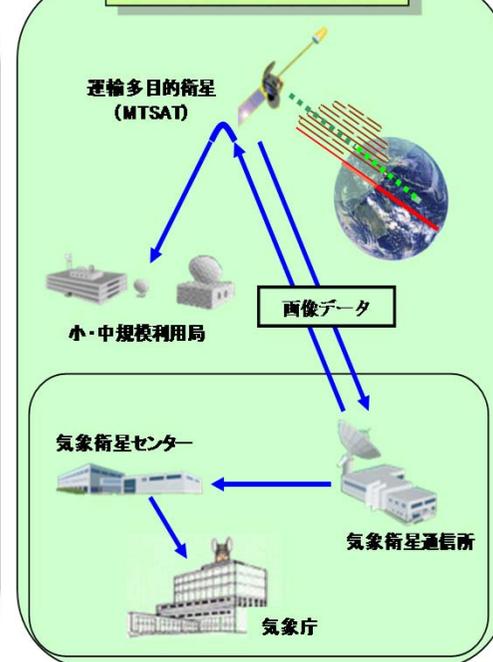
○気象観測関連業務

運輸多目的衛星 (MTSAT) の気象観測機能・気象通信機能を気象観測業務に利用しています。

航空管制関連業務



気象観測関連業務



温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」による観測と後継機開発

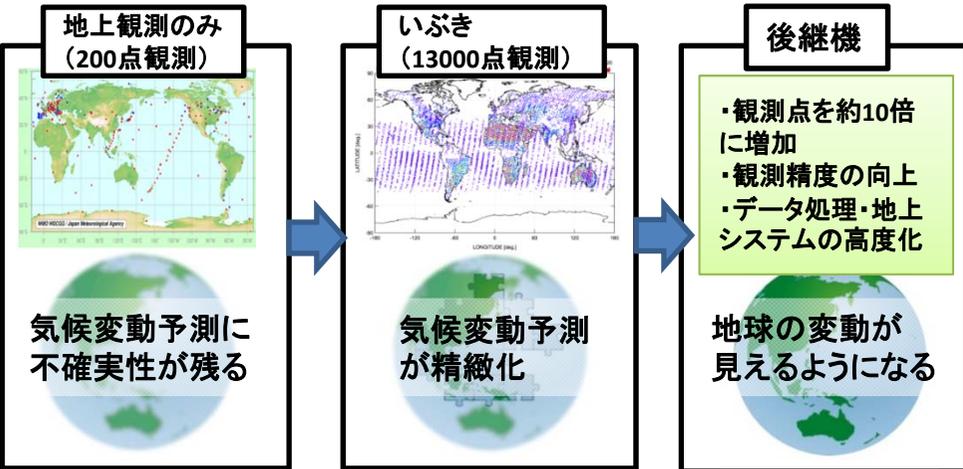
事業期間（平成21～28年（後継機：開発段階（平成24年度～平成28年度打上予定））
 事業費（環境省分） 約35億円／平成24年度 1,472百万円（平成23年度 274百万円）

環境省地球環境局
 総務課研究調査室
 03-5521-8247

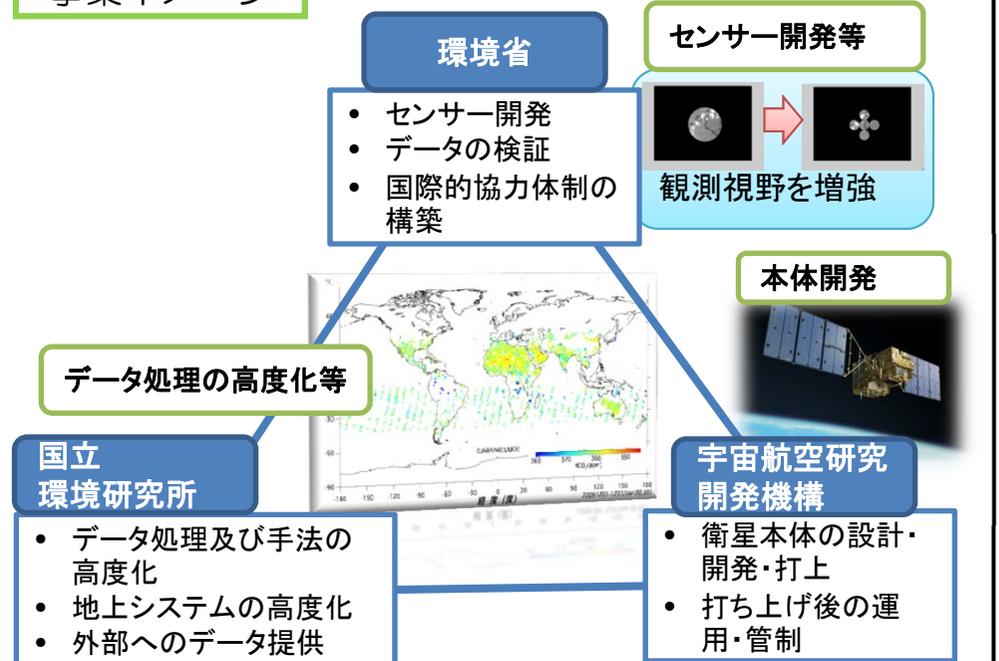
事業の内容

事業の概要・目的

- 気候変動に関する科学の発展への貢献
 平成21年打ち上げの「いぶき」及び観測精度等を向上させた後継機による継続的・体系的な観測を行い、科学的知見の向上に貢献します。環境省は、このうち衛星に搭載するセンサーの開発等を担当します。
- 全球的な気候変動政策への貢献
 大規模な炭素循環の変化の解明、地域別のCO2吸収排出量推定等、温暖化対策に資する情報を提供します。
- 宇宙からの観測による国際的協力体制の構築
 CO2等の観測衛星OCO-2を計画中の米国等との連携により、データの信頼性向上を図ります。



事業イメージ



年度	H24	H25	H26	H27	H28
環境省 次期観測センサーの設計・開発 (試験用モデルの制作・試験等)	概念設計	試作試験用モデル	工学試験用モデル	プロトタイプフライトモデル	
国立環境研究所 データ処理手法の高度化等	データ処理手法の統合的高度化等				
宇宙航空研究開発機構 後継機本体の設計・開発・打上	いぶき後継機本体の設計・開発				

↑ 打上